

北小6年生児童が自然薯販売売上金をソーレ大石田に寄付

大石田北小の6年生児童が社会福祉法人たいよう福祉会ソーレ大石田(駒籠)に、昨年12月21日(火)~22日(水)にあつたまりランド深堀で実施した自然薯販売での売上金を寄付しました。本来であれば、児童自ら訪れ手渡す予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3月16日(水)に担任教諭が同施設を訪れ、職員に寄付金を手渡しました。



◀12月21日(火)~22日(水)にあつたまりランド深堀で実施した自然薯販売。会場には販売開始前から、自然薯を求めの方で行列ができ、大盛況で終了しました。

北小6学年ではこれまで、売上金の活用方法を検討していましたが、児童たちの「同じ学区にあるソーレ大石田に寄付して活用してほしい」との思いから今回実施されました。

寄付金を受け取った職員は、「児童の皆さんから当施設に寄付したいという話が出たのは嬉しかったです。施設利用者の医療品の購入に活用させていただきます。」と話していました。

北村山高校そばガールズが小学4年生児童に手作りの裁縫針刺しをプレゼント

北村山高校家庭クラブ活動「そばガールズ」が3月16日(水)に大石田小学校と役場を訪れ、手作りの針刺しを寄贈しました。寄贈された針刺しは、ペットボトルのキャップや裁縫で使用した布の端切れなどを活用してそばガールズのメンバー自ら、一つ一つ手作りにしたものです。



小学校では5年生になると家庭科の授業がはじまり、裁縫や調理などを学ぶことになります。そばガールズの菅野律さんは、「針刺しの綿の量を調整するのが難しかったです。家庭科を好きになってもらって将来そばガールズとして活動してくれる人がいると嬉しいです。」と話していました。

大変ありがとうございました。



火災を防げ！春の火災予防運動

春の火災予防運動が4月9日(土)から22日(金)まで行われました。11日(月)には役場正面玄関で春季火災予防運動キャラバンの出発式が行われ、早坂和義団長をはじめ町消防団員や尾花沢市消防本部の職員などあわせて約30人が参加しました。

出発式では早坂団長が「しっかり防火の啓発活動を行っていききたい」と決意を述べました。その後団員らは各班の車両に乗り込み、各地区で防火標語のビラを配って防火を呼びかけていました。



町内各地で交通安全呼びかけ 春の交通安全県民運動

春の交通安全県民運動が4月6日(水)から15日(金)までの10日間行われました。初日の6日には大石田町、尾花沢市の交通安全推進協議会や交通安全母の会などのメンバー約50人が参加して野川食肉センター駐車場で出発式が行われました。その後参加者らは国道347号沿いに連なり、プラカードやのぼりを持って交通安全を呼びかける「交通事故よさよな(347)ら人波作戦」が行われました。

春は新入学児童や新社会人の通学通勤が始まり事故が多くなる季節です。人も車も自転車も、交通ルールとマナーを守って事故防止に努めましょう。



とれいゆつばさがラストラン 阿波踊りと花笠踊りでお見送り

とれいゆつばさのラストランが3月27日(日)にJR新庄一福島間で行われました。JR大石田駅では、午前9時15分にとれいゆつばさが到着すると、最上川芭蕉連(阿波踊り)や尾花沢市商工会女性部(花笠踊り)がそれぞれ自慢の踊りを披露しました。

最上川芭蕉連の笹原章宏さんは、「平成26年の運行開始の際も出迎えました。少し寂しいですが感慨深いです。」と話していました。

とれいゆつばさは、平成26年7月から週末を中心に運行し、令和4年1月までに約7万人の利用があったとのこと。



トヨタライン株式会社が通学児童用黄色帽子を寄贈

トヨタライン株式会社(齋藤和博会長)が、4月8日(金)に虹のプラザを訪れ、通学用黄色帽子60個を寄贈しました。

これは、齋藤さんの「町内の子どもたちに通学時によく目立つ黄色の帽子をかぶってもらい、交通事故にあわないで、元気に明るく通学してほしい」という思いから、毎年寄贈いただいているもので、今年で22回目の取り組みとなります。

寄贈された帽子は、贈呈式に先立ち、4月7日(木)に各小学校で行われた入学式にあわせて新1年生に配られました。

毎年、大変ありがとうございました。